

ICP-AES 利用規定

初めて使用する際には、装置担当者から講習を受け、使用者登録を行うこと。測定前にマニュアルをよく読み、マニュアルに従って使用すること。あまり測定経験がない場合は、知っている人と一緒に測定すること。

使用する際には、サイボウズ予約システムから事前に予約して使用すること。1週間くらい前に予約することが望ましい。直前での予約はなるべく避けること。

料金は1回XXX円とする。さらに、アルゴンガス・ヘリウムガスの使用量によって、ガス料金を課金する。また、装置部品等の故障により、高額のコストが発生した場合には、使用時間に応じて修理費の一部を分担していただく可能性もある。

ICP-AESを使用するにあたって、次の事項に関しては特に気をつけること。

- ・装置は振動、衝撃に非常に弱いので、接触を極力避ける。

（測定中は歩行による振動でも分析に影響がでる場合はあるので、特に注意する。）

- ・測定に用いる試料の濃度、特にマトリックスに注意する。

（上記のものによってはネブライザーが詰まるなど、測定に支障をきたす可能性がある。）

溶媒にフッ酸、有機溶媒等を用いるときなどは装置の構成を変更する必要がある。通常の測定以外のことをする場合には、事前に中井研究室に連絡すること。希薄溶液以外は使用することができない。また透明でない（濁った）溶液は絶対に使用しないこと。

飲食物の持ち込みを固く禁止する。

測定終了後は、酸による洗浄（10分程度）と、純水による洗浄（5分程度）を行ってからプラズマを落とすこと。チューブはペリポンプから外しておくこと。周辺の後片付けを徹底すること。

使用記録はノートと、中井研究室に提出するものと2つあるので注意すること。必ず詳細を記入すること。

トラブルが発生した場合には放置せず、すぐに中井研究室（内線5782）まで報告すること。